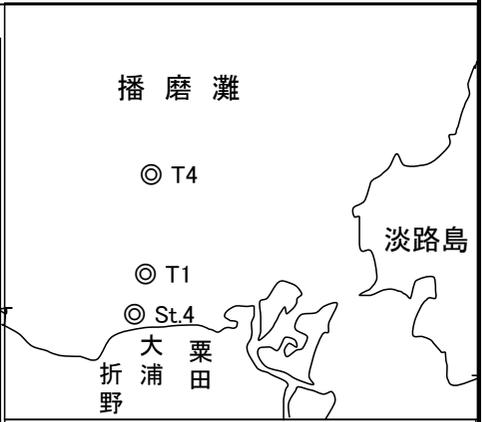


令和4年度 播磨灘広域共同調査（7月19日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	細胞/mL							
						シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ オバータ	シャットネラ 区分不能	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	アレキサンドリウム sp.	
T4	09:51	0-5			9.9	-	-	-	0.01	-	-	0.01	
		0	24.85	32.33									
		1	24.84	32.33									
		5	24.81	32.37						0.02			
		10	24.34	32.47									
		15	24.34	32.51									
		20	23.69	32.63									
		25	23.54	32.66									
		30	23.48	32.69									
		B-1	23.47	32.70									
T1	10:44	0-5			8.1	-	-	-	0.02	0.04	-	-	
		0	25.11	32.05									
		1	25.17	32.28						0.28	0.08		
		5	24.86	32.35									
		10	23.77	32.39								0.02	
		15	23.67	32.58									
		20	23.55	32.61									
		25	23.23	32.65									
		30	22.30	32.65									
		B-1	22.28	32.66									
St.4	11:08	0-5			7.0	-	-	-	0.01	-	-	-	
		0	25.12	32.05				0.01	-	0.13	0.02	0.01	
		1	25.11	32.15						0.03	-	0.02	
		5	24.65	32.22						0.01	0.01	-	
		10	24.23	32.25						-	0.02	0.08	0.02
		15	23.56	32.25									
		20	23.22	32.45									
		25	23.21	32.65									
		30	23.16	32.68									
		35	22.00	32.62									
		B-1	21.72	32.67									



・有害種のシャットネラ属, コクロディニウム ポリクリコイデス, カレニア ミキモトイが検出されましたが, 低密度でした。

・麻痺性貝毒原因種を含むアレキサンドリウム属が検出されましたが, ごく僅かでした。

・珪藻は, St.4ではキートセロス属主体で前回調査時と同程度でした。一方で, T4では減少し, 非常に低密度でした。
珪藻細胞数 St.4(0-5m): 524cells/ml
T4(0-5m): 25cells/ml